

課題対応取組み報告書

名称	都島区地域包括支援センター
提出日	令和4 年 6 月 17 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等）
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活動テーマ	こころの支援を学ぶ会	
地域ケア会議から 見えてきた課題	令和2年度の地域ケア会議において、「高齢者」に加えて「精神障がいを抱えているが長期間受診できておらず介護サービスにつながらない」「精神障がいや発達障がいをあわせもつ高齢者へのかかわり方がわからない」「高齢者の家族が精神障がいを抱えていて支援の協力が得られない」ケースが多かった。支援者が精神障がいについて気軽に相談できる場所がなく一人で抱え込み悩んでいるケースもあった。 高齢者の多職種支援者が、精神障がい分野の専門家の意見を得ながら、精神障がいに関する知識や制度や関り方についてともに学ぶ機会が必要。	
対象	介護、福祉、医療の支援機関、地域の関係機関の支援者	
地域特性	都島区の南部。JR・京阪・大阪メトロの駅が複数あり梅田へのアクセスも良く、区役所や区民センター、警察署、消防署等の公共機関があり利便性が高い。南部は1号線が東西に通り交通量が多い。繁華街、雑居ビル、単身向けマンション、家族向け大型マンション、古くからの戸建てや長屋が混在する地域である。徒歩圏内にスーパーがない地域があるが、全体的に商店街、商業施設、店舗、医療機関等が多い。長年住んでいる方が多く、転入もあるが、人口は減少傾向にある。	
活動目標	精神障がいを抱える方の支援について、精神障がい分野の専門家に気軽に相談できる場、精神障がいに関する知識や制度について学ぶ場、を定期的実施する。多職種が連携して支援できるよう、横のつながりをつくる。	
活動内容 (具体的取組み)	平成30年度から実施している都島区介護事業者合同連絡会において、令和2年度に「地域で支えよう！精神障がいを抱える高齢者やその家族」を開催し、精神保健福祉士による疾患の説明・理解・事例紹介の講座を開催した。アンケートにより、さらなる勉強会の希望が多かった。 「こころの支援を学ぶ会」として、支援者どうしてグループスーパービジョンができるよう、疾患の知識とともにチームで考え方向性を決めていけるよう事例検討を取り入れ、講師（一般社団法人あじさいネット 精神保健福祉士・社会福祉士）の助言を得て3回コース（令和3年8月5日、10月19日、令和4年2月24日）として開催した。 コロナ禍であったがしっかり話し合いをしながら理解を深め意見交換ができるよう対面形式にこだわった結果、参加者は10名程度とし、ふれあいセンター都島3階会議室にておこなった。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	参加職種は、ケアマネジャー・プランナー・障がい者基幹相談支援センター・小規模多機能居宅介護・グループホーム・見守り相談室で、参加人数は延べ17名であった。アンケート調査より、「一人で考えるよりチームで意見を出し合うことが大事だと感じた」「高齢・障がいの支援者の関係性をもっと深まればよい」「状況が動かないときは見守りながら関わることの大切さに気付いた」「困難にぶつかったとき焦らず一度紙に書き出して考えることの大切さを知った」等、参加者にはそれぞれ様々な気づきがあり、全員が参加してよかったとの感想であった。	
今後の課題	参加いただいた方には精神障がいについて気軽に相談する場、知識や支援の考え方について学ぶ場として一定の成果はあったが、コロナ禍で参加者が少人数に限られ、コロナ禍により参加者が業務多忙となり3回通して参加することが難しく、支援の考え方を学びグループスーパービジョンによる横のつながりづくりにまでは至らなかった。また、精神疾患を抱える方の支援の考え方も大事だが、精神疾患を抱える方の具体的な支援方法を知りたいという希望が多かった。 ひとことで精神疾患といってもさまざまな症状や状況が考えられる。 令和4年度は、精神疾患を抱える方の支援で困難となった複数のケースについて、スーパーバイザーの助言を得て課題抽出の地域ケア会議を開催し、支援困難となった要因を分析する。都島区介護事業者合同連絡会で、参加できる人数を増やし、「分析した精神疾患からの支援困難な要因」について、具体的な支援方法について、講師の参加を得て具体的な勉強会を開催する。 都島区介護事業者合同連絡会において、精神疾患を抱える方の支援についてどのようなことを学びたいか改めてニーズ調査をおこなう。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和4年7月13日（水）	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント	問題がたくさんあり、多岐に渡るため、専門家の先生を交えて、一緒に考えて行けたら良いと思う。 居宅介護支援専門員より、具体的な支援のアドバイスが欲しいニーズがあるため、引き続きの実施を希望。 同じような立場の支援者が交流し、情報の出し合い、思いの共有を狙った取り組みをしたが、3回シリーズによる参加のしづらさが見られたため、令和4年度は、支援者としての捉え方などを勉強し、スキルアップを図り、多職種交流会で支援者自身の味方を作っていけるような、共感できるような交流会との2本立てが必要と考え、取り組みを進めている。そのことは、PDCAサイクルを回した継続的な取り組みであり、多職種の支援関係者へとのさらなる活動の進化が伺える取り組みである。	
* 今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。		